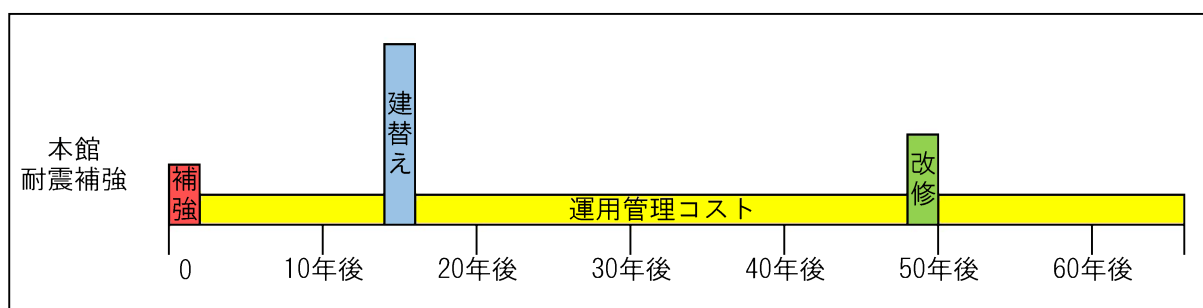
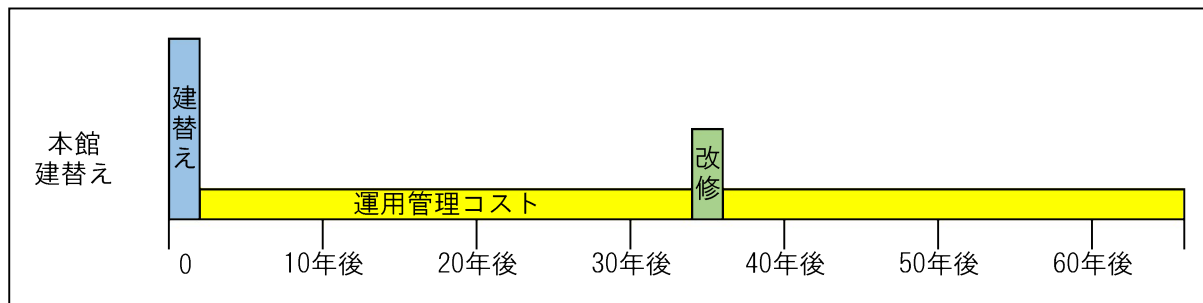


## 建替えた場合と耐震補強する場合の財政負担の比較

建替え時期の違いからコストを比較する

- 試算条件
- ① 始良本庁本館を現行の面積で建替える
  - ② 延床面積2,367.8㎡
  - ③ 建替え時期70年（建替え単価50万円/㎡）
  - ④ 改修時期35年（改修単価25万円/㎡）※予防保全としての大規模改修



(単位：千円)

項目	事業費	本館建替え		本館耐震補強	
建設費用	1,183,000	合併推進債(90%)	1,064,700	一般債(75%)	887,250
		一般財源(10%)	118,300	一般財源(25%)	295,750
		交付税措置見込み額	△ 214,217	交付税措置見込み額	0
解体費用	57,500	合併推進債(90%)	51,750		
		一般財源(10%)	5,750	一般財源(100%)	57,500
		交付税措置見込み額	△ 10,412		0
改修費用	575,000		575,000		575,000
耐震補強費(参考)	41,400				41,400
合計			1,590,871		1,856,900

### 解説 合併推進債の交付税措置見込み額算定について

基準財政需要額－基準財政収入額＝普通交付税交付額

(例) 平成28年度 始良市(一本算定)の場合

(需要額) 13,718,364千円－(収入額) 6,806,969千円＝6,912,449千円

(※ 需要額に対して交付額の割合：50.3%)

合併推進債を活用して庁舎建設をした場合、地方債を発行した翌年度以降の基準財政需要額に、その年度に支払われる元利金の40%程度が算入される。

このことから、基準財政需要額に算入される額は、1,064,700千円×40%＝425,880千円

これに対して、交付額は 425,880千円×50.3%＝214,217千円と試算される。

## 庁舎の65年ライフサイクルコスト比較

### 庁舎を新築する場合

(単位:千円)

	床面積	設計等コスト	建設コスト	維持管理コスト	解体コスト	合計
		約1%	約29%	約68%	約2%	
複合新庁舎	12,000.0 m <sup>2</sup>	292,788	6,000,000	18,418,546	502,309	25,213,643

※コストの比率は、一般財団法人建築保全センター発行「建築物のライフサイクルコスト」による

### 既存庁舎を補強・改修する場合

(単位:千円)

	床面積	設計等コスト	建設コスト			維持管理コスト	解体コスト	合計	
			改修工事	耐震補強 (参考)	建替え (14年後)				
始良庁舎	本館	2,367.8 m <sup>2</sup>	57,772	591,950	41,400	1,183,000	3,634,286	57,500	5,565,908
	3号館	194.4 m <sup>2</sup>	4,743	48,600	—	97,000	298,380	8,137	456,861
	4号館	323.0 m <sup>2</sup>	7,881	80,750	—	161,000	495,766	13,520	758,917
加治木庁舎	北庁舎	1,485.0 m <sup>2</sup>	36,233	371,250	7,800	742,000	2,279,295	62,161	3,498,738
	南庁舎	1,900.0 m <sup>2</sup>	46,358	475,000	9,900	950,000	2,916,270	79,532	4,477,060
	多目的ホール	264.3 m <sup>2</sup>	6,449	66,065	—	132,000	405,668	11,063	621,245
	消防庁舎	330.0 m <sup>2</sup>	8,052	82,500	—	165,000	506,510	13,813	775,875
	保健センター	702.4 m <sup>2</sup>	17,138	140,480	—	351,000	1,078,099	29,402	1,616,119
蒲生庁舎	本館	1,013.5 m <sup>2</sup>	24,728	253,365	17,700	506,000	1,555,600	42,424	2,399,817
	別館	1,380.0 m <sup>2</sup>	33,671	345,000	—	690,000	2,118,133	57,765	3,244,569
床面積 合計	9,960.4 m <sup>2</sup>						総合計		23,415,110
							※12,000m <sup>2</sup> 換算⇒		28,209,843

※改修工事費および建て替え工事費は「始良市公共施設再配置基本計画」による  
 ※いずれの建物も、65年の間に耐用年数を超過するため、建て替え費用を計上する  
 ※コストの比率は、新築の場合の床面積に対する面積比により算定する  
 ※耐震補強工事費は、類似施設等の事例を基に算出した参考金額である